

第6回独立行政法人契約監視委員会

平成25年6月
独立行政法人経済産業研究所

1. 日時

平成 25 年 5 月 23 日(木)15:00～16:15

2. 場所

独立行政法人経済産業研究所会議室

3. 出席者

(1)委員

白山委員長、向委員、八田監事、濱田監事

(2)独立行政法人経済産業研究所

中島理事長、山城総務ディレクター、齋木総務副ディレクター

4. 議事

(1)開催挨拶:中島理事長

(2)経済産業研究所の契約状況について

・平成 24 年度の契約内容及び契約方式の状況

5. 概要

(1)開催挨拶

冒頭、中島理事長から開催挨拶が行われた。

(2)経済産業研究所の契約状況について、事務局から説明後、質疑が行われた(主な質疑については別紙参照)。個々の契約について、競争を阻害するような仕様は無く、また、1者応札という結果になった調達についても、調達プロセスにおいて競争性が働く仕組みが維持されているとして、契約の適切性について了解を得た。

(別紙)

質問・意見	回答
■競争性のない随意契約理由及び契約価格の妥当性	
＜他機関との共同研究＞ ソーシャルイノベーションの活性化に関する調査研究に係る共同研究契約：国立大学法人 京都大学	
<ul style="list-style-type: none">・ 京都大学との協定に基づく共同研究は、継続的な契約で何年間での協定か確認したい。・ 個別テーマでの契約は単年度で行っているのか。・ 実績報告書の支出に対する内容審査において現地調査や証票等をチェックして確定した支払金額というのは、当初契約額より減っているのか。	<ul style="list-style-type: none">・ 5年間で行っている。・ 単年度契約で行っている。・ 確定検査後の実際の支払金額は、当初契約額より減っている。
■一者応札・応募となったものの状況	
＜委託調査＞ ①平成24年度「ベンチャーの起業意識に関するインターネット調査」：トランス・コスモス株式会社	
<ul style="list-style-type: none">・ インターネット調査実施にあたり、調査実施会社の提案を受ける形で調査を実施しているのか。・ RIETI が示す仕様にて、実施可能と推測できる調査会社は複数あったのか。	<ul style="list-style-type: none">・ 提案型ではなく仕様にて対象大学を特定し、実施している。・ 実施可能との回答を複数の業者から得ていた。
②平成24年度「人的資本形成とワークライフバランスに関する企業・従業員調査」：株式会社東京商工リサーチ	
<ul style="list-style-type: none">・ 本件は継続調査であるが、平成23年度で調査を実施した事業者と新規に実施する事業者との比較では実施にあたり有利・不利のというのはあり得たのか。	<ul style="list-style-type: none">・ 平成23年度の調査対象者リストは、平成24年度実施業者へ提供するので、平成23年度に実施した業者との比較で不利ということはないと認識。ただし、1回経験した業者の方が作業コスト・効率において有利になるのではないかという印象はあるが、この点は発注側ではいかんともしがたい。

③一者応札・応募となった契約金額の状況

- | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none">24年度に一者応札・応募となった案件について予定価格と契約金額の差を確認したい。 | <ul style="list-style-type: none">価格・金額・落札率について回答(書面提示・確認)。 |
|------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|